

海外安全対策情報平成30年第1四半期（1～3月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にありますが、2016年の犯罪発生状況を日本と比較すると、ブルガリアで強盗・窃盗被害に遭う割合は日本の約1.2倍にも上ります。

外国人観光客が特に狙われた凶悪犯罪の発生は認められませんが、首都ソフィアの観光名所にもなっているマーケット、バス及びトラム等の公共交通機関でのスリや、ひったくりは依然多発しており、特に注意が必要です。

外出時には常に防犯意識を高く持ち、多額の現金を持ち歩くことは避ける等、貴重品の管理には十分注意して下さい。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。

以上